

国家一般職（教養区分）試験とは？

第1次試験

（1）基礎能力試験【配点比率4／9】

公務員として必要な基礎的な能力（知能及び知識）についての、多肢選択式（5択）マークシート試験。

- 知能分野24題……文章理解⑩、判断推理⑦、数的推理④、資料解釈③
- 知識分野6題……自然・人文・社会に関する時事、情報⑥

※○内の数字は出題予定数

（2）課題対応能力試験【配点比率1／9】

速く正確に課題を解く能力についての、多肢選択式（5択）マークシート試験。

- 試験時間は15分間、出題は合計120題を予定しています。問題を飛ばさずに番号順に解答してください。誤答・2つ以上マークした解答やマークを飛ばしたものと、その数だけ正解数から減点されます。

（3）一般教養論文試験【配点比率2／9】

一般的な教養を土台とした判断力、思考力についての、論文試験。

- 試験時間は80分間、出題は1題を予定しています。

第2次試験

（4）人物試験【配点比率2／9】

人柄、対人的能力などについての個別面接

補足説明

2025年度より国家一般職試験に教養区分が新設され、**3年生の受験も可能**になりました。

3年生で最終合格した場合、採用候補者名簿に6年間掲載されることとなり、4年生の7月初旬から開始される官庁訪問（各官庁ごとの採用面接）を行うことになります。

■ 2025年度の国家一般職（教養区分）試験の実施状況

現在の3年生受講生の45名が一次試験を受験し、**84%にあたる38名が最終合格!**

※教養（中国）最終合格者99名中1位は広島大学法学部3年生の受講生でした。